

一般社団法人おもやい

2021 年度 事業報告

□地域内活動

1. 訪問活動（新型コロナウイルス感染対策活動含む）（1～8月）

令和元年8月豪雨から、継続的な訪問活動を継続。2021年度も昨年度同様新型コロナウイルス感染再拡大により緊急事態宣言、並びにまん延防止措置等の発令により、孤立が懸念される方々への訪問は急務で有り必須の対応でもあった。

これまで継続して支援をいただいている味の素冷凍食品株式会社様よりの冷凍食品をはじめ、多くのご支援をいただきながら訪問対応を行った。

2. イベント事業

2月6日	料理教室
2月20日	料理教室
3月8日	料理教室
3月13日	おうちで防災フェス（江北町・みんなの公園主催イベントと連動型）
3月14日	大牟田「防災まちあるき」
5月9日	おもやい防災展示会
*8月14日	水害発生
*8月18日	水害対応スタート
9月1日	おもやいカフェ
10月28日	誘致CSOとの交流会（佐賀県県民協働課委託事業）
12月12日	クリスマス会
12月27日	おもやい研修会（佐賀県CSO未来への一步応援事業）

本年度はコロナの影響が大きく、また8月の水害発生に伴い当初通りの開催には至らなかった。上記のようなイベントを実施、あるいは県との協働事業としての開催が行われた。

コロナ禍での水害でもあったため、非常に活動は難航した反面、一方で地域でのサロン開催などによりその需要が高まっていることを痛感した。改めて地域や人とのつながりの実感を得る場を多くの方々が求めていることもわかった。

3. 会員制「おもやい防災あんしんセット」の実施

昨年度から継続して会員制の防災グッズのセット「おもやい防災安心セット」事業を実施。これまで個人や自治会単位など250世帯が会員として登録。(120世帯増)

6月6日にはあんしんセット配布会を朝日町高橋地区にて開催し、さらには会員を更新される方々へ、賞味期限のある食料品等の交換を随時実施した。件数が増えていくにつれて出水期前における対応が集中することからも、どこまで対象を今後広げられるかが課題となる。

実際に本年度は水害が発生したため、特に簡易トイレの利便性が注目され、ユーザーからもそうした声を多数聞かれた。また水害発生に伴い、大町町を中心に要望が既に上がっており、次年度(令和4年度)に対応予定。また水害後にケーブルワン主催による少年野球のチャリティマッチが11月に開催され、その際に寄せられた支援金を次年度のあんしんセット購入費として指定寄付とすること、さらに個人からのご寄付もあり、そうした形で次年度に実施する予定としている。

4. ボランティア活動(水害対応)

個人や各種団体からの依頼に応じてボランティア活動を実施した。特に、8月豪雨により水害が再び発生し、そのため民間ボランティアセンターの体制を再度構築し、武雄市社会福祉協議会が運営する「武雄市災害ボランティアセンター」とは活動内容の役割分担を行い、一般のボランティアの受け入れは災害ボランティアセンターが窓口となり、おもやいは災害救援系のNPO団体等の受け入れ窓口として機能させ、被災された方々への対応を行った。12月末現在、のべ1,000件対応を行い、ボランティア総数は2,819人となった。

またコロナ禍での活動ということもあり、おもやいも賛同団体として参加している佐賀災害支援プラットフォーム(SPF)のイニシアチブでコロナ禍における水害対応のガイドラインを作成し、そのガイドラインに遵守する形での受け入れとなった。さらには人員が混雑すると予想される毎週土曜日には関係機関から提供されたキットを使つての抗原検査を必須とし、スタッフ含め全員が実施するものとした。(現在も継続中)

さらに、今回はコロナ禍により武雄市においては炊き出しを制限されていたことを受け、市内の飲食店の有志によるお弁当の配布が実施されることとなり、その配布のサポートをおせっかい配食と連携する形で行ったことは令和元年になかった、新たな取り組みとなった。

しかし、一方で令和元年と令和3年と立て続けて被災をされている世帯の心身的・経済的な負担の懸念から、武雄市並びに大町町に対しての「武雄市から佐賀県・国への制度緩和による支援拡充を求める要望書」を8月29日に提出した。

1. 「佐賀県・国への制度緩和による支援拡充の要望実行」として、①罹災証明の速やかな発行と、②重複被災を受けた世帯へ、罹災判定を繰り上げを行う特別措置、③応急修理制度の金額の引き上げ、④応急修理制度の遡及適用などの要件緩和、⑤当該自治体での柔軟な判断を可能にすること
2. 「佐賀県へ県独自の追加支援制度の導入の要望実行」として、①県内の救助法が適用されない中で被災された世帯への県単独事業としての支援の実施、②応急仮設住宅(みなし含む)の入居条件の見直し・拡充、③重複被災を受けた被災者への支援の上乗せ等の県独自の支援を行うこと

3. 「武雄市による『避難者』の定義を在宅避難者まで拡大し、支援を拡充する要望」として、①避難者への食糧支援等の環境整備、運用に努めること、②「避難者」の定義を在宅であっても避難者として捉えて、食糧支援等の拡充に努めること

以上の要望書を武雄市・大町町に提出した。さらに佐賀県へは直接 SPF が主体となり、おもやいも連盟で県への提案書として提出した。しかし、結果的にはあまり大きな効果は得ることができなかった。

その他、家屋対応、建築士による相談受付、子どもの遊び場の実施、各自治会単位でのサロンの実施などを建築プロンティアネット・よりみちステーション・SPF・グリーンコープと連携をしながら各種事業を実施し、被災地 NGO 協働センター、NPO 法人リエラ、コミサポひろしま、ADRA Japan、シャンティ国際ボランティア会、かながわ 311 ネットワークなど、長期にわたるスタッフの派遣によってこれらの活動を支えていただいた。

5. 大町町における多世代交流拠点整備・運営事業サポート

地域おこし協力隊を中心として、大町町における多世代交流拠点「ペリドット」の運営のサポートを本年度行なっていくため、助成金の申請など様々な手続きを行なってきたが、実質的なサポートまでには至らず、その後の水害の発生に伴い運営事業サポートとは言えないような状況であった。

一方で情報交換等を行いながら、地域おこし協力隊からの要請に応じる形で側面的なサポートとなったことは次年度への反省とする。12月からはおもやいからの委託という形で事業サポートを行い、なるべく円滑に運営・事業実施できるような側面的なサポートを継続していく。

6. 「おもやいフードリンク」事業の実施

本年度4月より、よりみちステーションの「フードパントリー」事業と協働で実施した。12月まで計9回の配布会を実施した。

活動費については「赤い羽根 子どもと家族の緊急支援 全国キャンペーン」計3回申請を行うことで事業実施に至った。

また、本事業実施に伴い、武雄市環境課からの委託事業として食品ロスなどの削減を目指しながらフードドライブを運営する事業としても位置付けられ、業務用冷蔵庫の設置やフードリンク事業に関連する移動交通費などの補助があった。

フードリンクの利用世帯は延べ291世帯(4月～12月合計、平均約32世帯)の利用となった。またその都度アンケートをもらいながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響から生活にご苦労されている世帯については別途対応を行うなど対応を積み重ね、利用世帯からの相談に応じる形で住居のQOL向上のためのサポートなどを行うなど、関係機関と連携する形で出来る限りのサポートを継続している。

今後、利用されている方々へのサポートを各関係機関と連携しながら継続させていく必要性が大きくなりつつある。そうした意味で、食糧支援にとどまらない様々な支援先とのネットワークを構築していくことが重要であるという認識を新たにしている。

7. 防災に関する勉強会・講習会の実施

6月13日 おもやいオンライン防災教室

6月17日 防災出前講座 in 朝日公民館

7月26日 北方小学校放課後児童クラブ青空教室出前講座

本年度は計画していた中で、コロナの感染状況により、延期あるいは中止となることが多く、ほとんど実施することが難しい状況にあった。武雄市と連携する形で武雄市集落支援員であるスタッフ派遣による防災講座の実施も開催が限定的とならざるを得なかった。

こうしたメニューについては今後も維持しながら必要に応じて提供できるようブラッシュアップを図ることが必要である。

8. 武雄市情報共有会議への参加

昨年度同様、本年度もおもやいスタッフ1名を総務省の集落支援員制度を利用して、武雄市の会計年度職員として採用されていることもあり、1月から7月までに4回の情報共有会議を防災・減災課のコーディネートのもと実施され、参加した。主に防災・減災課、福祉課、健康課、企画政策課、市民協働課など、関係各課との情報共有を行った。

しかし、その後の水害の発生に伴い共有会議の実施が見送られる形となる中、SPFと武雄市との災害時における連携に関する協定が締結されるなどの環境の変化に伴い、改めて共有会議が仕切り直しとなる形で11月より再開され、SPFからの推薦による共有会議におけるコーディネーターを設置することで外部からのサポートが入ることにより、より客観性を担保した形での情報交換へと変化している。

一方で、情報共有会議とは異なるが武雄市農林課が主催する「里山資本ゼミ」への講師派遣などもあり、様々な角度からの行政職員とのコミュニケーションが生まれていることもあり、今後も継続して参加しながら、取りも直さず住民の方々のくらしを支えるための関係性の構築へと昇華させていくことを目指していくことが重要である。

9. 大町町連携会議への参加

昨年度より実施されている大町町役場と大町で活動をしている団体との連携会議に参加。8月の水害発生後はほとんど参加することは叶わなかったが、大町町における災害時における三者連携については既に大きく注目されることとなっている。

また日本レスキュー協会が大町町に拠点を整備し（令和4年2月竣工）、具体的な拠点を置くことでより密接な連携・コミュニケーションが不可欠となる中、SPFの賛同団体として継続して連

携会議への参加を行う。

□県内活動（太良町・嬉野市）

1. 災害支援活動（ボランティアコーディネートのサポート等）

8月の豪雨による被災が武雄市・大町町にとどまらず嬉野市においても被害が発生したことで、SPFを中心に嬉野市役所・嬉野市社協との連携を図りながらの被災世帯へのサポートを県内外のNPO 団体等と共に行うためのコーディネート業務にスタッフを1名派遣し、SPFメンバーとして活動にあたった。

また、オカベースを中心に太良町への訪問を引き続き行い、その後のサポートなどを行なった。

2. 「おもやい生活再建支援金」の継続

昨年度7月豪雨での太良町における災害対応から、災害救助法が適用されない地域での支援金の配布を行なった経緯から、この仕組みをおもやいに残し今後の災害に備えて必要に応じて募集を呼びかけ、支給できる体制を残しているが、本年度はこの支援金を運用することはなかった。

厳密には対応すべき自治体もあったことは事実であり、それが事務局が被災をするなどの状況の中、マンパワー等も鑑みて運用できるまでには至らなかったのは課題として受け止め、今後の運用に活かしていく。

□県外活動

▶福岡県大牟田市

昨年度から引き続き、3月までシャンティ国際ボランティア会（SVA）からの委託でスタッフを派遣し、令和2年に水害が発生した大牟田市みなと校区での防災に関する学習会やまちあるきなどの開催サポートを行なった。

みなと校区における様々な関係性を考慮し、3月末のSVAの活動終了に伴い必要があればサポートするという形で一旦は活動終了した。その後は電話連絡などのやりとりなどに終始し、それ以降については大牟田市内での活動を行っていない。

8月の水害発生以降は、大牟田市社協やフードバンクおおむたなど、これまでの関係からこちらの活動へのサポートをいただくという関係性となった。

▶熊本県

>人吉市

昨年度に引き続き、人吉市で活動する「アークレスキュー人吉球磨」のサポート活動を熊本県の一般社団法人九州環境地域づくり、宮崎県の宮崎文化本舗との連携の下、行う。住民の方々が被災によって減少した地域におけるサロン活動をオカベース・被災地NGO協働セ

ンターのメンバーと共に現地で行う。

□その他

▶実施事業

- ・感染予防ワークショップ：佐賀大学青木先生による Zoom 勉強会
- ・おもやい大学
 - 4月13日：兵庫県立大学澤田雅弘先生による「災害とは」の講義
 - 4月20日：兵庫県弁護士会津久井進先生による「法律とは」の講義
 - 4月27日：被災地 NGO 協働センター村井雅清さんによる「ボランティアとは」の講義
- ・DIY 講座（6月13日実施）

▶参加会議等

- ・1月19日 全国地域おこし協力隊有志によるセミナー
- ・2月3日 災害連携研修事業（佐賀県主催）
- ・3月19日 里山資本ゼミ
- ・6月13日 佐賀 CSO 推進会議主催の他業種連携会議
- ・6月20日 震災がつなぐ全国ネットワーク総会
- ・7月2日 武雄市役所農林課「里山資本ゼミ」
- ・7月6日 佐賀未来創造基金休眠預金事業合同研修会
- ・8月5日 VAN 事務所と佐賀市役所との協定式
- ・10月22日 PEAD 寄付金授与式
- ・11月16日 シビックフォース主催「コレイルキックオフミーティング」
- ・11月17日 ボランティアセンターふりかえりの会（武雄市福祉課）
- ・佐賀県未来への応援事業伴走支援会議（随時開催・佐賀未来創造基金）
- ・SPF 執行部会議（随時）

▶講演活動

- ・1月8日 関西学院大学復興制度研究所フォーラム登壇
- ・1月24日 大牟田・自主防災組織研修会講師
- ・3月9日 福岡高校 Zoom 授業講師
- ・3月13日 みんなの公園主催「おうちで防災フェス」登壇
- ・3月15日 佐賀県 JC 主催「災害対応に関するフォーラム」登壇
- ・4月13日 白石町健康サロン講師
- ・6月14日 兵庫県立大学宮本匠先生ゼミ講義
- ・7月9日 北方中学校総合的学習の時間講師
- ・10月15日 まちコミュニケーション主催オンライン講座講師
- ・11月19日 北方小学校2年生総合的学習の時間ガイド

- ・ 12 月 4 日 佐賀県婦人会講話講師
- ・ 12 月 15 日 シャンティ国際ボランティア会勉強会講師
- ・ 12 月 27 日 五ヶ瀬自然学校主催公開講座講師